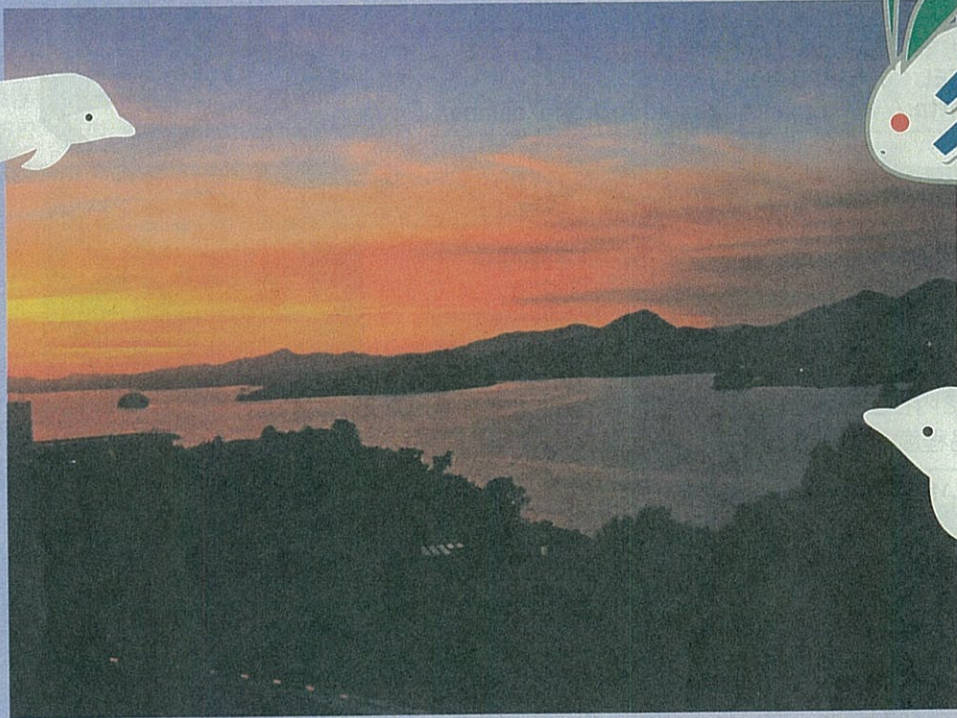


下十メリ がわら版

2007年
冬
vol.16



大村湾の夕陽（大崎半島より）

環境学習のすすめ～大村湾を学ぼう～ 2 3

がんばってます。わたしたちのまち。
～おおむら環境フェア～ 4

時津街道と大村湾 5

大村湾にくらす 6

大村湾に関する研究 7
大村湾の郷土料理

環境学習のすすめ

今日、環境問題は、地球温暖化をはじめ毎日のように新聞やテレビで取り上げられ、多くの方が関心を寄せているところです。

みなさんのなかには、環境について興味はあるけど、どこでどんなことが学べるのだろうか？地域で学習会を開きたいけど誰に講師をお願いすればいいのかしら？と悩んでいる方いませんか。県では様々なメニューを用意してみなさんの参加や活用をお待ちしています。

○ながさき県政出前講座

身近な話題から県が重点的に取り組んでいる施策まで、様々なテーマを用意しています。もちろん、テーマにはなくても「こんな事を聞きたい」などの要望がありましたらお気軽にご相談ください。

(例)「閉鎖性水域の水質保全について」
(大村湾などの水質の状況や県が取り組んでいる水質保全対策を説明します。)

他にも「地球温暖化防止対策」や「ゴミゼロながさき推進事業」、「長崎県の自然環境と課題」など環境に関する10のテーマを用意しています。

お申し込み・お問い合わせは…広報広聴課まで
TEL : 095-895-2021
<http://www.pref.nagasaki.jp/koho/demae/>



○長崎県環境アドバイザー制度 (出前環境教室)

主催者：公民館、PTA、地域グループ、その他各種団体

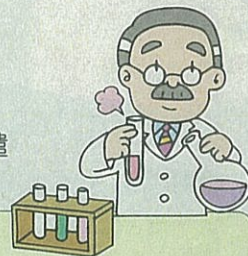
実施内容：自然環境 (生物観察など)

環境保全 (地域環境、大気、水質など)

生活環境 (ごみ、廃棄物、リサイクルなど)

これらを内容とする講演会、研修会、講習会、観察会等への講師派遣

参加人数：約30名程度 (観察会等は20名程度)



お申し込み・お問い合わせは…環境政策課まで
TEL : 095-895-2353
http://www.pref.nagasaki.jp/kankyo/education/advisor/advisor_index.html

○環境ツールの貸し出し

県では *「+エコ運動」の一環として地域で環境学習を行う際に使用する環境ツールの貸し出しやパネルの貸し出しを行っています。

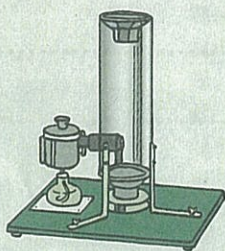
例えば、「エネルギーのかばん」。これは、3つのかばんにアメリカ、中国、日本のそれぞれの1人、1日あたりのCO₂の排出量に相当するおもりを入れ、比較することでその差を実感するものです。

また、「酸性雨発生モデル実験器」、「酸性雨測定キット」。これは世界的に問題になっており、長崎県でも調査項目の一つとなっている酸性雨について体験するものです。

パネルは、大村湾に関するものをそろえています。

詳しいお問い合わせは…
長崎県環境政策課まで
TEL : 095-895-2353
または895-2355

*「+エコ運動」とは、持続可能な社会の実現のため環境問題に対する関心・知識・行動をワンステップずつアップさせる取組の総称です。



酸性雨発生モデル実験器



酸性雨測定キット



大村湾を学ぼう

県においては平成15年度に「大村湾環境保全・活性化行動計画」を策定し、大村湾の環境保全に取り組んでいるところです。

しかし行政の取り組みだけでは限界があります。みなさん一人一人の意識と行動が大切なのです。

そのため、県ではまず大村湾を知ってもらうことからはじめようということで、様々な体験型の講座を実施しています。

大村湾 連続講座

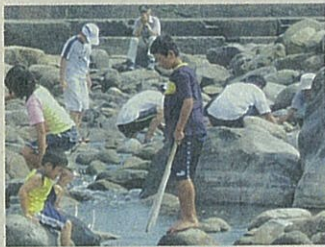
大村湾の海・山・川などにおいて体験的なプログラムを通して大村湾を学ぶ講座を大村湾環境ネットワーク会員の方たちと協働で実施。

対象：大村湾流域にすむ小学生以上ならどなたでも参加できます。

実施内容：「川の体験」、「海の体験」など

川の体験

川の生物を観察し、川の汚れ具合を調べました。
(平成19年9月9日 郡川、環境保健研究センター)



郡川で生物の採取
「どんな生物がいるかな？」



環境保健研究センターにて生物の観察
「顕微鏡でよく見えるよ」

海の体験

大村湾で稚魚の放流などを体験し、水産業について学びました。
(平成19年10月14日 琴海文化センター、大村湾)



受講の様子



放流する魚に標識をつける作業



プランクトンの収集



プランクトンを顕微鏡にて観察

「環境サミット」開催のお知らせ 佐世保市

- とき 平成20年1月20日(日) 13:00～
- ところ アルカスSASEBO 中ホール
- 内容
 - ・講演会『100人の村のためにわたしにできること』池田 香代子氏
 - ・生徒・市民団体による活動発表
 - ・環境壁新聞、地球温暖化防止絵手紙作品展・表彰式

ほかにも楽しい企画がもりだくさん!!みなさんのお越しをおまちしています。

詳しくは…佐世保市環境保全課まで(0956-26-1787)



池田 香代子 氏
「世界がもし100人の村だったら」著者

おおむら環境フェア

～美しい大村が大好きです～

と き:平成19年9月22日(土) 10:00～16:00

ところ:シーハット大村(コミュニティセンター、さくらホール)

大村市市制施行65周年記念事業として開催された「おおむら環境フェア」。環境ポスターや標語の表彰式、環境講演や映画「不都合な真実」の無料上映など行われ、多くの入場者で賑わいました。

また、会場には様々なブースやフリーマーケットなどが設置されました。

おおむら環境フェアにスナメリ出現!?

そのなかの一つ、大村湾環境ネットワークのブースに、大村湾の希少な生物、スナメリの剥製と骨格標本がお目見えしました。

これは佐世保市にある西海パール・シーセンターのご厚意により貸し出していたもので、ふだんなかなか見ることができないとあって、訪れた方は興味深そうに立ち止まって見学していました。



がんばります。わたしたちのまち。

ほかにも、様々なブースがたくさん。



〈生ゴミリサイクル実演〉



〈おしゃれマイバッグ作成実演〉



〈大村湾のお魚くんどキドキふれあいコーナー〉
カブトガニも飛び入り参加



〈清掃センター搬入品もったいない大抽選会〉

清掃センターに不要品として搬入された品物60数点を展示。抽選により希望者に配布したところ、大盛況。なかには新品同様のものもあり、考えさせられる場面もありました。



〈マイカップキャンペーン〉

自宅からマイカップなど持参した人にジュース、コーヒーの無料サービス。

時津街道と大村湾



26聖人記念碑(時津港)から大村湾を望む



時津街道と長崎街道

江戸期に始まる鎖国時代、外国との唯一の窓口であった長崎には、国内から多くの人々が西洋文化を求めて集まりました。

これらの旅人が利用したのが、長崎街道(長崎から陸路矢上をとおり諫早・大村・彼杵(現在の東彼杵町)・嬉野へ続く)と時津街道(長崎市から浦上、時津を経て海路東彼杵町へ渡り嬉野へ続く)です。



茶屋(本陣)



日本26聖人上陸記念碑

長崎街道は、彼杵まで60キロ、これに対し時津街道は陸路12キロと大村湾を通る海路28キロの合計40キロで、好天であれば一日の行程を短縮できたそうです。

街道沿いの時津町元村郷には、大名たちが休憩所として利用した茶屋(本陣)があり、屋敷の門や石垣などに当時を偲ぶことができます。

また、時津は豊臣秀吉のキリスト教禁止令により、1597年、長崎市の西坂ではりつけにされた26人のキリスト教信者で後に26聖人と呼ばれた人たちが、彼杵から海路で運ばれ上陸したところでもあります。

時津港には、このことを記念した大きな記念碑が建てられています。

現在も時津港からは、長崎空港とを25分で結ぶ大村湾を利用した航路が開かれており、多くの人々に利用されています。

(この記事は時津町住民環境課帯山氏より寄稿いただきました。)

大村湾に暮らす

海の青、山の緑と自然豊かな大村湾。その大村湾に突き出た大崎半島に窯をかまえる陶芸家がいらっしやいます。窯の名は「一念窯」。昭和25年、初代一念の手によって作られ、以後、母、一念と娘、芳炎さんによって陶芸制作がなされてきました。今回は、2代目芳炎さんに作陶活動や大村湾の魅力などお聞きしました。



美術ギャラリー

からりとはれた空によく映える、スペインを思わせるような真っ白な壁にオレンジの屋根が特徴の「一念窯美術ギャラリー」。ギャラリーのなかには初代一念、2代目芳炎作の陶器が所狭しと並べられていました。



一念作品

小さい頃から常に焼き物に携わる母の姿を見てきた芳炎さん。「小学生の頃には母の美術館巡りについて行き、何時間も美術館で過ごすことが多く、知らず知らずのうちに本物にふれ、専門的な知識を身につけていたんですよ。

土をこねるのも見よう見まねで母の手伝いでやっていました。窯作りも、母は7回、自分で作っていましたから煉瓦を運んだりしたものです。」

初代一念は得意の絵を生かし、独自の発想をもとに独学で陶芸制作に取り組み、サハラ砂漠を題材とした多くの作品を完成させ、「サハラが私を呼んでいる」という新たな境地を確立しました。



二代目 芳炎作
ラクダ絵珈琲碗

そして、二代目芳炎さんは初代一念の作風・信念を受け継ぎつつ大崎半島の夕焼けの色に象徴される独自の作風を確立しています。（表紙の大村湾の夕焼けがまさにその色です）

この夕焼けの色もこの地に住んでいたからこそ、出せた色なんですよと語る芳炎さん。野山の草花をとってきてはデッサンすることで、いきいきとした動きになるそうです。このすばらしい大崎半島や大村湾の景色を焼き物でどう表現していくかが今後の課題だとか…。



芳炎作 ラクダ絵サーバー

今後は、焼き物を通して地域の方々に本物にふれてもらい、感動を与えることで、皆さんに喜んでもらえるような、そんな場所を作りたいとのこと。

一 焼き、二 土、三 細工といわれるほど、焼き物は焼きが大事です。焼き物の焼き味を是非味わってほしいと思っています。

また、他のジャンルの方たちといっしょに、例えば音楽会を催したり、焼き物に料理を盛りつけ「食の会」を行ったりと今後も活動の幅を広げていきたいと思っています。



二代目 尾田 芳炎さん

尾田一念 遺作展 「サハラが私を呼んでいる」陶芸・絵画展

日時：平成20年5月20日～25日

場所：県立美術館県民ギャラリーにて開催

お問い合わせ

〒859-3617 長崎県東彼杵郡川棚町三越郷443-4

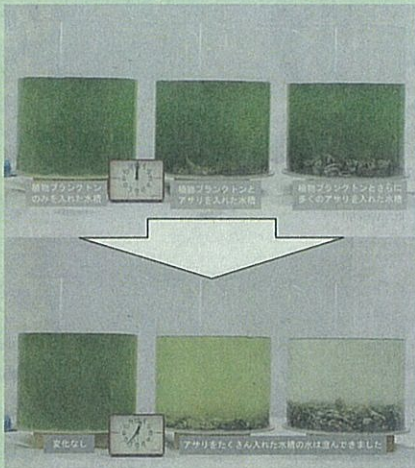
一念窯美術ギャラリー 館長 尾田 芳炎

TEL：0956-82-3363

ホームページ：http://gallery-ichinen.com/（検索で「一念窯」と入力）

「メンテナンスフリー型内湾修復技術の開発」 ～手入れがいらぬ海の保全を目指して～

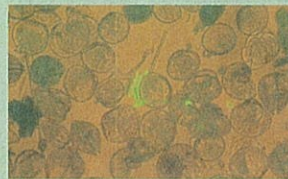
長崎県環境保健研究センターで取り組んでいる大村湾に関する研究紹介の第2弾です。



アサリのろ過能力
アサリを入れた水槽(中央及び右)は約30分で
水が澄んできています。

写真のように、アサリなどの二枚貝は優れた浄化能力を持っています。アサリやナマコなど海の底の生き物の多くは生まれてしばらくの間、海の中を漂ってから海の底に住み着きます。この研究ではこれらの幼生(赤ちゃん)が産まれる場所やたどりつく先を見つけ、そこを重点的に保護・改善しようとしているものです。成長した二枚貝の多くは水産資源として漁獲されますので、死骸が海を汚すこともありません。このように最小限の投資で美しい海を保っていく方法を目指して研究しています。

二枚貝や巻貝の浮遊幼生。
中央に光っているのが、アサリの幼生。▶



大村湾に 関する 研究



〒856-0026
大村市池田2丁目1306番地11
大村ハイテクパークNERC上
TEL 0957-48-7560
FAX 0957-48-7570
<http://www.pref.nagasaki.jp/kannoken/>

大村湾の郷土料理

アラカブのみそ汁、唐揚げ(西海市)



「アラカブのみそ汁」



「アラカブの唐揚げ」

アラカブのみそ汁

材料(4人分)

- ・アラカブ(カサゴ) 中4匹
- ・葱 少々
- ・水 800CC
- ・しょうが 少々
- ・みそ 50g

- ①お湯が沸騰したら下ごしらえしたアラカブを入れる。
- ②仕上げにみそをいれ、しょうがを加え、小口切りした葱を入れる。

大村湾流域には、ナマコやシャコなどの水産物やみかん、ぶどう、いちじくなどの果物といった農作物が豊富にあります。ここでは豊かな農水産物を使った大村湾流域の郷土料理を西海市地産地消地域推進協議会委員の濱田イシエさんにお聞きしました。主に西海橋近辺で年中とれるアラカブ。昔から滋養をつける食材として、産後の女性などに作ってあげていたそうです。



濱田イシエさん

「料理は大好き！」と目を輝かせてお話される濱田さん。西海市の郷土料理を収めた「菜海食物語」の編集に2年間携わり、数多くの料理を作られたとか。郷土料理の良さは、なんと言ってもシンプルな調理法により素材本来の味を十分出し尽くすこと。現在は伊佐の浦にあるレストランでその腕をふるっています。

こうした地域の料理を是非、地域の人たちや子、孫に伝えていきたいですね。今、「食育」が注目されていますが、やはり食はあらゆるものの基本です。もっともっと大事にしてほしいですね。

この本のお問い合わせは西海市水産商工観光課まで



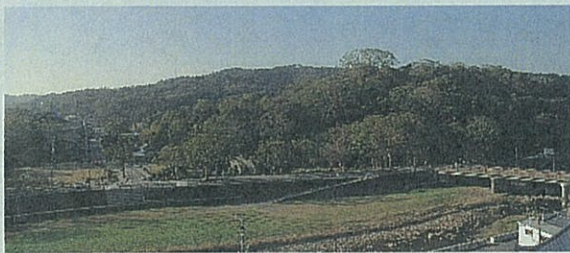
大村湾のおすすめスポット

上山(じょうやま)公園(諫早市)

上山公園は、代々諫早家に維持・管理された地域で、公園の一部は戦国期に築かれた高城(たかしろ)の本丸として機能していました。公園内には石橋として国の重要文化財第1号となる眼鏡橋や樹齢500年を越す大クス、諫早家の菩提寺である天祐寺など見所がたくさん。平成18年度には都市公園法施行50周年等記念事業実行委員会から本県で唯一、「日本の歴史公園100選」に選定されました。



眼鏡橋



この公園は、諫早市の歴史・文化・自然がたくさん詰まった公園です。
のんびり訪れてみてはいかがでしょうか。



天祐寺



スナメリかわら版への情報・記事を大募集!!

スナメリかわら版では大村湾や流域における様々な情報を募集しています。
「私たちの活動をみんなに広めたい」、「今度、河川の生物調査をするので参加する人はいませんか」、「大村湾の流域にはこんなすてきなスポットがありますよ」などみなさんの情報をお待ちしています。

大村湾周辺にお住まいの
皆様の情報誌です。

スナメリ
かわら版

平成20年1月発行
編集・発行/長崎県環境政策課
〒850-8570 長崎市江戸町2-13
TEL 095-895-2355
FAX 095-895-2566



大村湾に関する環境情報を提供してください。

- 長崎県環境政策課 ◎電話 095-895-2355 ◎FAX 095-895-2566
◎E-mail omurawan@pref.nagasaki.lg.jp
- 長崎市環境保全課 ◎電話 095-829-1156 ◎FAX 095-820-0316
- 佐世保市環境保全課 ◎電話 0956-26-1787 ◎FAX 0956-34-4477
- 諫早市環境保全課 ◎電話 0957-22-1500 ◎FAX 0957-22-9137
- 大村市環境保全課 ◎電話 0957-53-4111 ◎FAX 0957-54-0404
- 西海市環境政策課 ◎電話 0959-37-0065 ◎FAX 0959-23-3101
- 長与町環境対策課 ◎電話 095-883-1111 ◎FAX 095-883-2061
- 時津町住民環境課 ◎電話 095-882-2211 ◎FAX 095-881-2764
- 東彼杵町町民課 ◎電話 0957-46-1111 ◎FAX 0957-46-0884
- 川棚町町民生活課 ◎電話 0956-82-3131 ◎FAX 0956-82-3134
- 波佐見町保健衛生課 ◎電話 0956-85-2111 ◎FAX 0956-85-2337